

「令和2年度アーク溶接の技術講習を受講しました」

1年生24名は、1月27日から29日までの3日間、アーク溶接の学科講習と実技実習を受講しました。大学校では、学生が農業機械や施設の簡易な修理を自らできるようになることを目的に毎年この講習を実施しています。

公益社団法人広島県労働基準協会から講師を招き、溶接設備の構造や取扱い、作業における注意点や安全対策、関係法令について講義を受けた後に実技実習に取り組みました。実習では、直流溶接機と半自動溶接機を使ってアークの発生、ビード形成、鉄板の接合の練習を行いました。

アーク溶接作業は、感電やアーク光による眼の炎症、火傷など常に大きな危険と隣り合わせです。講師からの助言を受けながら、みな真剣な表情で取り組んでいました。

